

つぶら農園におじゃましました。

自然農法暮らしをしているつぶら農園にお邪魔しました。「つぶら農園」簡単に言うと丸森の石井書店さんのお家で、1ターンされた安部さんのお家です。ここの奥さんと共同畑でお知り合いになり、興味があったやぎも飼っているとのことで、見学においてとお誘いいただきました。農園にはまずヤギがお出迎え。つぶら農園さんの1日はまず朝一番にヤギの乳を絞るところから始まるそうです。今はこの乳からチーズを作ることに挑戦しているんだとか。ぜひ教えていただきたいものです。つぶら農園さんは毎月1回開放日があります。ぜひ遊びに行ってみてください！！



朝一番にヤギの乳を絞るところから始まるそうです。今はこの乳からチーズを作ることに挑戦しているんだとか。ぜひ教えていただきたいものです。つぶら農園さん

新鮮な卵を
恵んでもらえる▶



◀ヤギの乳搾りに
挑戦！！

ミニトマトの
種取り▶



敬老の日に感謝。

突然ですが、私には祖父も祖母も父も母もいません。全員他界しました。おかげさまで結束力が高まったせいか、3姉妹はとても仲がいいです。もう10年も経つので心の整理はついており、毎日楽しく過ごしています。たまに命日忘れるくらい笑

耕野の方々とおしゃべりのなかで「昭和●●年生まれ」と聞くと「おとんと一緒だ！」「おかんと変わらん！」と嬉しくなってしまう。勝手にすみません、親近感がめちゃくちゃ湧いています。私もいい歳こいてるので、父母の世代は敬老会世代になります。いやしかし、耕野はスーパーパワフル高齢者さん多すぎです！！もうしばらく生きてもらって、いろいろ勉強させてくださいね！！

10月号

Vol. 11

協力隊通信

宮原 治代
(ミヤハラ ハルヨ)

道標交換しました。

老朽化が進んでいたのが、産業観光部会の方々が道標を建て替えてくださいました。この道標、実は地域外の人にはとても助かるものだそうで。確かに、目印が何にもないから説明する方も難しいですよ。部会のみなさま、ありがとうございました！！



◀仕分け作業

▼ご協力ありがとうございました



◀記念品贈呈



▲慣れた手つきです。さすが。

しめ縄づくり

昨年も見学に行った、ザン丸プロジェクトでお世話になっている館矢間の農家さんがしめ縄づくりでテンテコ舞いしてると聞いたのでお手伝いに行きました。ど素人な私がやれることは下準備だけ。でも下準備が一番大変だと言うので張り切って行きました。

しめ縄って、中心部は太くて、端は細いですよね。あれって、芯の藁の本数が違うんです。大体5本差で何種類か藁の束を作って、さらに藁で包んで行きます。

例えば、30本の束を15束、25本の束を10束、20本の束を5束用意して、外を形成する藁に少しづつずらしながら組み込んでいきます。あ〜動画でお見せできないのが残念です！！

とにかく、私の仕事はきれいで力強くてかっこいい藁を選定し、この束を準備すること。話しかけられたらまた初めから数え直して地味に集中力のいる作業でした★



▲イメージ。

実際作られたものとは違います。

▼藁の束を藁で包む

裏です。

ピンチです、狩猟免許。

まずはじめに、みなさんはこれをパッと見せられて何かわかりますか。



じゃ、次これ。↓↓



これは捕っちゃダメな生物と捕っていい生物の判別テストです。

左のしっぽ短い方が
イタチメス：捕獲ダメ、
右のしっぽ長い方が
イタチオス：捕獲OK。

右はクロガモ：捕獲OK
左はオオバン：捕獲ダメ。
私は言いたい。「実際見たところでわかるわけなかるうもん」と。

網、わな、第一種猟銃試験を受けたのですが、わなの実技は間違えるし、空気銃の空気入れれないし、全く自信なかったのですが、なんか受かってました笑

余談ですが

9月後半、休暇をいただき岡山にいる妹家族に会いに行きました。久しぶりに甥っ子姪っ子たちと会ったらみんな成長しててびっくり！！中学1年生の甥っ子君からよそよそしい敬語使われなくてホッとした〜。